



春夏秋冬

2020
vol.21
季刊発行

eco 情報



「新型コロナ対策支援制度まとめ」

- ・新型コロナウイルス感染症対応休業支援金
- ・特別定額給付金
- ・住宅確保給付金
- ・ひとり親世帯臨時特別給付金
- ・子育て世帯臨時特別給付金
- ・学生支援緊急給付金
- ・個人向け緊急小口資金等の特例

これ以外にもいろいろありますので、確認してください。

ワン ジャ 王家 サイ カン 菜館

中田家の嫁、王さんが教える中国の家庭料理。ぜひ試してください。



file No.021 「鶏肉炒香菇」(鶏肉としいたけ炒め)

コロナに負けない免疫力アップの一品です。



- 材料 (二人分) 鶏モモ肉・・・200g サラダ油・・・大きじ1 醤油・・・少々
しいたけ・・・3ヶ みりん・・・少々 生姜・・・少々
長ネギ・・・1本 料理酒・・・少々 山椒・・・10粒

- 作り方 1、鶏肉、しいたけは一口サイズに切る。長ネギは斜め切りにする。 4、火が通ったら生姜と山椒は取り除く。 5、そこに鶏肉を入れ炒める。
2、鶏肉は、お湯で湯がく。 6、お酒、みりん、醤油、調味料で味付けをする。
3、フライパンにサラダ油を入れ生姜と山椒を炒める。 7、しいたけ、長ネギを加え炒め味を調えたら完成です。



三代目通信

ショールームは6月からコロナ対策をしながら営業再開しましたが三密を防ぐため予約制になっています。
キッズコーナーは閉鎖しています。ご入館の際、マスクの着用と消毒薬で手指の消毒をお願いしています。
早くコロナから解放される日を願っています。

ソーラーサーキットの家



発行：有限会社 小山建設
羽生市中央2-6-3
☎048-561-6878
info@e-hous.co.jp
編集長：中田 新一

●web もご覧ください
<http://www.e-hous.co.jp/>

「コロナから考える住まいのあり方」

今年2月から世界中を巻き込んだコロナウイルスはまだ収束していませんが通勤、通学、仕事、旅行、外食等生活の在り方が一変したのではないのでしょうか。

マスクが手放せなくなり、人との交流も大きく制約を受けています。

家の住まい方はどうでしょうか？



「換気」と「職住」から考えてみたいと思います。

ソーラーサーキットの家では、もともと健康のことを考えて24時間、家の空気が2時間で1回入れ替わるように計画されています。窓を開けた換気では、夏は熱気と湿気を室内に入れてしまい、冬は寒気を入れてしまいます。

換気を24時間まんべんなく考えると機械換気になります。今までの住まいの考え方は、リビングを大きく取り家族だんらんの場を大切に考えてきました。

しかし今回のコロナウイルスの影響で、だんらんも大切だけど個々のデスクワークも考えるようになるとプラスワンの空間が必要になってきました。当社標準装備の小屋裏空間は収納空間として考えられてきましたが、テレビと電話の回線を持ってくればテレワークも可能になります。

8月には当社体感ハウスで体感フェアを行いますので、住まいの在り方を考えてみてはどうでしょうか。

イベント開催情報

小山建設は夏涼しく冬温かい外断熱・二重通気工法「ソーラーサーキット」をおすすめしています！

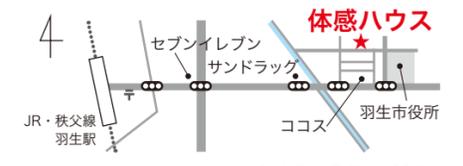
夏の体感フェア 開催!

令和2年
8月22日(土)・23日(日)

三密を防ぐため事前予約をお願いします。

予告

今号2P「How to 家づくり」で見学させていただいた羽生市内のお宅の現場完成見学会を9月中旬に予定しています。



羽生市東6-5-13 ☎048-563-1123

report How to 家づくり

家が出来上がった後は見る事が出来なくなってしまう家の基礎や壁の中、天井裏など構造見学会の様子をご紹介します。

「構造見学会」

家というのは、仕上がりも大切ですが、基礎工事や壁の中天井裏など構造的な所も見どころ満載なのです。



今回の構造見学会はコロナウイルスの影響で同じ時間帯一組という完全予約制にさせていただきました。来場者には検温チェック、アルコール消毒使い捨てスリッパの使用など、ウイルス対策をとらせてもらいました。



今回の見どころは、樹脂サッシと断熱材の納まり、24時間換気の配管壁内通気の様子など完成してしまうと、見えなくなってしまう所です。

見学に来られた、みなさまは一緒に工事途中を観るのは初めてということとても興味深く

見学をしていました。雨季の中で足元の悪い中での見学会となりましたが、お施主様のご厚意もあり、とてもいい勉強の機会になりました。

9月中旬には完成見学会も予定していますので、よろしくお願ひします。



地元・羽生市での取り組み

「地元での取り組み」

今年度から羽生建設組合の組合長を務めることになりましたが、あいにくのコロナウイルスの影響で4月からの活動はできず7月に入ってやっと第一回の定例会が開けました。

会場が公共施設のため施設解除を待っての開催となりました。もちろん検温、アルコール消毒、マスク着用という条件付きでした。内容については交流イベント、親睦活動等は今年は見送りとなりました。

町内活動でも夏祭りの中止、運動会の中止、今唯一活動しているのは町内公園の草刈り活動だけです。

もう一つ私が常任理事をやっている NPO 法人まちおこし・はにゅう市場、昨年まで月二回で村君の新鮮野菜を相生町公会堂で売るという活動も休止をやむなくされています。

これらの活動に共通しているのは人と人を結ぶ絆の活動だということ、半年も活動ができないと人間関係がパサついてくると感じるの私だけでしょうか。



匠の道具 小山建設の木工機械

カンナとノコギリの機能を併せ持つ優れたもの。木材を切断し、厚みを調整し、直角水平に仕上げる。作業場が出来て55年、この万能機は3代目。子供のころ、父が材木を機械に入れ反対側で受け取るという。作業が今の仕事の礎なのかもしれない。



「万能機」